

<過去のアンケート結果例と研修部長のコメント>

II. 当院に足りないもの（無しという答えが最多でした）

- ・認知度、宣伝 以前よりは知られるようになったと思います。
- ・研修医数 以前は4-6名でしたが、現在は16名です。来年は生え抜きの2年目が6名になります。
- ・周囲の環境 近くにサンストア、ちょっと出ればコンビニ、ジョイフルもあります。
- ・知り合いの医師 新しい出会いもいいですよ。

III. 研修病院を選ぶにあたって重視するもの

- ・研修プログラムが充実 当院はいろいろな工夫をしています。
- ・診療科の充実 当院はほぼすべての科があります。
- ・指導医、病院の雰囲気 学生が知るのなかなか難しいですが、大事なことですよね。
たくさん病院見学をしてみてください。
- ・症例数、疾患種類 当院は東北の基幹病院として、また一般病院として様々な患者さんが来ます。
- ・研修生活のQOL 当院は目茶目茶忙しい病院ではありません。
すごく忙しい時はありますが、時間的余裕は持てます。
- ・研修に対する病院の熱意 ありあまっています。

IV. 初期研修に関して思っている事全般

- ・一般疾患に対応できる手技、知識を身に付けたい そのためのレクチャ、指導体制を用意しています。
- ・初期研修後の進路が不安
学生のうちは、大学しか知らないので今後のキャリアについて不安だと思います。
研修をどこでやったかというのはキャリアに影響しません。研修によって何を身に着けたかが問題です。
初期研修後は後期研修に入ったり、直接研究に入ったり、医局に入ったりいろいろな道があります。
医局に入るにしても、結局将来のキャリアは自分の力で切り開かなくてはなりません。
そのための力（臨床能力、職業人医師としての能力、視野の広さ）を付けてもらう研修を目指しています。
また、当院医師によるキャリアに関する講座を開いてキャリアのイメージを持ってもらうようにしています。
専門医制度も変わってきていますので、それに対する対策も指導します。
- ・実技がたくさんしたい もちろん実技をたくさんできますが、初期研修医としては専門的な実技よりも一般的な実技を身に着けるのが大事です。
- ・当直における指導体制 常に常勤医（内科、外科、小児科）がおり、指導してくれます。
- ・学会発表、論文 医師にとって、学会発表、論文作成は重要なスキルです。当院でも積極的に指導しています。
論文は全員とはいきませんが、発表はほとんど全員しています。
- ・指導医がどの程度見てくれるか不安、見学だけにならないか不安
当院の医師は非常に教育熱心でいろいろな事をやらせてくれますし、ほったらかしにすることもほとんどないです。
また各科研修終了時に研修医一人一人から各科研修指導についての意見を聞いてフィードバックしています。
- ・女性医師に関して 当院では約20名の女性医師が働いています。女性専用の休憩室、仮眠室があります。
- ・産休、育休 おそらく、どの病院もちゃんと休めると思います。少なくとも当院は問題ありません。なお、初期研修では法律上、90日以上研修休止した場合はその不足分を研修する必要があります。